

科目名	障害児保育研究				
担当者氏名	山崎 道子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	4年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

《授業の概要》

障害のある子どもの自立と社会参加に向けて、その子どもが持っている力を発揮することについて考える。
また、障害のある子どもの理解と支援や援助のあり方について、模擬授業等を通して考察を深める。

《テキスト》

なし。
随時、資料を配布する。

《参考図書》

適宜、参考図書を紹介する。

《授業の到達目標》

障害のある子どもの自立や社会参加に向けた取組等を知り、子ども一人一人が持っている力を発揮するための内容や指導等について考える。
障害のある子どもの保育や教育等について、内容やかかわり方等を具体的に考える。

《授業時間外学習》

「障害」に関するできごとや情報に関心を持ち、「障害のある子ども」の保育・教育・福祉等について理解を深める。

《成績評価の方法》

平常点60%、小レポート20%、定期試験20%

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の目的と内容及び進め方
2	障害のある子どもの保育・教育について	「障害」についての理解と障害のある子どもの保育・教育の基本的な考え方について
3	特別支援学校での指導	特別支援学校(主に知的障害)における教育の現場について
4	障害のある子どもの授業について	障害のある子どもの授業について、指導内容や方法や援助のあり方等を考える。
5	模擬授業についてグループでの話し合い①	班に分かれて、対象とする障害のある子どもについて考える。
6	模擬授業についてグループでの話し合い②	班に分かれて、障害のある子どもの授業(題材やねらいや活動等)について考える。
7	模擬授業についてグループでの話し合い③	班に分かれて、障害のある子どもの授業(題材やねらいや活動等)について考える。
8	グループの発表(1班)	模擬授業を発表(1班)し、参観する。授業について、感想を出し合い協議する。
9	グループの発表(2班)	模擬授業を発表(2班)し、参観する。授業について、感想を出し合い協議する。
10	グループの発表(3班)	模擬授業を発表(3班)し、参観する。授業について、感想を出し合い協議する。
11	模擬授業のまとめ①	各班の模擬授業をとおして、障害のある子どもの保育・教育について具体的に考える。
12	模擬授業のまとめ②	各班の模擬授業をとおして、障害のある子どもの保育・教育について具体的に考える。
13	障害のある子どもの生活について	障害のある子どもの「生活」(生活の場・日中活動の場・余暇の過ごし方等)について
14	障害のある人の卒業後の生活について	福祉的就労や企業就労を中心に
15	まとめ	まとめと全体の振り返り